令和７年度　第3回藤沢市市民活動推進委員会　議事概要

１　日　　時

２０２５年（令和７年）６月９日（月）午前１０時

２　場　　所

オンライン（Zoom）

３　出 席 者

（１）委　員　１２人

山岡委員長、坂井副委員長、大高委員、大場委員、鍛地委員、永山委員、新實委員、西村委員、笛木委員、藤田委員、水戸委員、森田委員

（２）事務局　６人

木村参事、黒澤主幹、二宮課長補佐、緒方上級主査、伊佐治専任主査、土倉職員

（３）その他

傍聴者　２人（議題１を除く。）

４　議 題 等

（１）ミライカナエル活動サポート事業　書類審査（スタート支援コース・ステップアップ支援コース）

（２）藤沢市市民活動推進計画の改定について

（３）その他

５　概　　要

〇開会

〇委員長が開会を発声。事務局から、委員会成立の報告が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（１）ミライカナエル活動サポート事業　書類審査（スタート支援コース・ステップアップ支援コース）

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

審査選考

（藤沢市情報公開条例第６条第３号に基づき非公開）

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（２）藤沢市市民活動推進計画の改定について

〇事務局から、藤沢市市民活動推進計画の改定について説明が行われた。

〇委員から（発言要旨）

（委員）時間がないが重要な議題であり、今回、ビジョンが具体的に提示された。前回の委員会での背景を踏まえた計画が提示されており、事務局が強調したいところが示されている。残り時間がないが、ご意見をいただきたい。

（委員）一つは、個の力の結集とパートナーシップの育成が今回の方向性で、前回の誰もが個性の輝きを放つ未来へからの変更ということだが、背景とのマッチングをもう少し説明いただきたい。

もう一点は、基本指針１の市民活動に関する普及啓発について、「啓発」という言葉の使用はそぐわないと感じており、市民活動は自発的なものなので、行政の立場はそれを支援する立場なので、普及促進くらいがいい。

もう１件は、市民活動の施設移転のこと。認知度が低いなど、いろいろな問題提起にも関わるため、次回委員会でよいので、計画予定、懸念や方向性を具体的に議論したい。

（事務局）社会全体の高齢化が地域に大きな影響を与えていることが、行政して課題と認識しているので、市民活動の推進により、地域や藤沢市全体を持続可能にするには市民活動は重要であり、市民活動は個人の力が結集し、パートナーシップとなって地域づくりにつながるということでこのビジョンになった。

市民活動を一人ひとりに意識してもらうために、市民活動の「普及啓発」としたが、「普及促進」の意見をいただいたので検討したい。藤沢市では公共施設再整備を進めており、より良い支援に繋がるよう市民活動推進センターを見直していく。具体的な時期は未定だが、将来的なビジョンの中で、支援方法も変わることを考えの中に入れて検討していく。

（委員）委員の意見に同感で、委員会でビジョンや基本指針を議論するには、こういうことだからこうなのだということが揉む前に見える方がいい。ビジョンはビジョン、基本指針は基本指針となってしまう。こういう背景があるからこういうビジョンや基本指針になったと委員会の中で共通認識を持ちたい。

（委員）２「地域が抱える課題と今後の方向性」だが、新型コロナのせいと見

てとれるが、自治会加入率の問題はコロナ以前からの問題であり、デジタル化が地域の絆を弱めたとは思っていない。市民自治推進課が出した自治会町内会の動画があるが、自治会自体の加入するメリットが感じられないことなどが根本的な原因なので、ミスリードになっていると感じる。

市民活動団体の形を狭くしているように思えるが、市民活動推進条例では市民活動団体の定義を広く捉え、社団など、町内会自治会、サークル活動も含めているので、そこが反映されてないことが気になっている。

（事務局）自治会や地域のそういう危機について市民自治推進課でも申し上げているが、より大きな課題となってきているというところを述べたもの。記載の仕方を少し見直してみたい。市民活動団体についても、より幅広い活動の仕方があるので、どのように個別具体的に支援すべきか基本施策で示していきたい。

（委員）皆さんの意見を今日たくさんいただきたかったが、時間的に難しい。委員会として皆さんから意見を聞く機会が限られている。19 日に有志で意見交換の時間を持つことにしたが、委員会への諮問に対する答申なので、委員の皆さんの意見がきちんと出てこないとできないので、それぞれの立場で感じること、事務局案に対する意見、ここに触れられてないことも含めて、現場からこういうことをもっと強調してほしいなど、形になって出てきているので、これでいくのだろうと思われているかもしれないが、全くそうではないと私は考えているので、メールで事務局にご意見をお寄せいただきたい。特に 19 日に参加いただける方はそのときでも構わないが、参加いただけない方は確実に意見をお寄せいただきたい。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（３）その他

〇事務局から、次回の委員会の開催日時等について連絡があった。
〇市民活動推進センターから、８月２日に実施するワークショップ事業について案内があった。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

〇閉会

―終了―